



松柏小学校 学校便り

R7. 12. 12 (金)

えがなかちゃん

No. 1 9

—笑顔・なかま・チャレンジ—

校長 加地孝昌

えがなかちゃんのなかま集会



① 12月11日(木)2時間目、なかま集会を行いました。5年生が人権劇を発表し、全校で人権について考えました。



② 劇の中で、「みなさんなら、この時、どうしますか？近くの人と話し合ってみてください。」と投げかけがありました。



③ 近くの子といろいろ話しました。



④ しつかり意見を言い合っていました。



⑤ 自分の考えを発表していききました。



⑥ 全校が見守る中、いろんな学年の子が意見を言っていました。



⑦ 堂々と意見を言えており感心しました。



⑧ 1年生もしっかり言えましたよ!(^^)!



⑨ 優しい行動が取れている場面も劇で紹介してくれました。



⑩ 1年生が転んだ時、6年生が駆け寄り、保健室に連れて行く場面の劇です。

5年生は、プラカードを首にかけたり、台詞を言う時に動作を付けたりして工夫して劇を行いました。声の大きさや表情、態度面もすばらしく、6年生への階段をしっかりと登っていることを感じました。頼もしいリーダー性が育っていることを嬉しく思います(^^)!

他の学年も、劇を見て意見交換をしたり、マイクで発表したりして、全校みんなで考え合い、つながり合うなかま集会となりました。みんな、すばらしい!(^^)!

心がしっかりと成長しています!



なかま集会の後、各教室の授業の様子を見に回っているとき、男子トイレのスリッパを綺麗に並べている3年生がいました。自分以外の全てのスリッパを丁寧に並べていました。「ありがとう。」と声を掛けると、にこっと笑って教室へ戻っていきました。みんなに気付かれない場所での行動。心がとっても温かく、嬉しくなりました。

「勇気のコップ」

『勇気』というコップがあって、そのコップに勇気が一杯に溜まり、コップから勇気があふれ出る時に、人は行動ができる。

上のような話を聞いたことがありますか。行動するためには、勇気が一杯に必要なだという話です。確かに、行動には勇気が必要だと思いますが、勇気が一杯に溜まっていないと、人は行動できないものなののでしょうか。

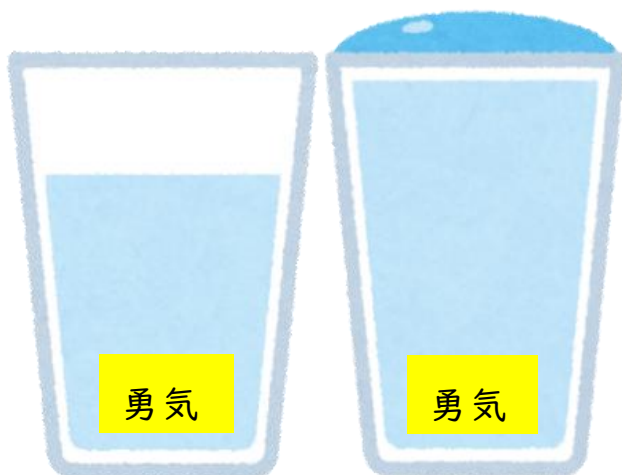
**勇気がちっぽけしかなくとも、人は行動できる。
また、行動しなければならないときがある。**



私は、勇気が心に一杯に溜まっていなくても、人は行動できるし、行動しなければいけない時があると思います。例えば、友達が悲しそうにしているとき。例えば、友達に対して、傷つけるような言動があったとき。そんな時、（もう少し待って。今は勇気のコップが少ないから声を掛けられないけど、ちゃんと溜まったら行動するから待っていて。）なんて思わないと思います。子どもたちには、（自分にはそんな勇気が無い）とか、（誰かが行動してくれる）と思わず、（何とかしたい!）という思いで、行動を起こす子に育ってほしいと願います。

行動すれば、コップの勇気が一気に溜まる

なかま集会で、全校の前で手を挙げて発表した子に、「良く頑張ったね。」と声を掛けると、「とてもドキドキしたけど、（頑張って言おう!）」と思って発表しました。言えて良かったです。」と話してくれました。



その子は、発表できたことで、達成感を味わい、自信を深めていました。行動したことで、その子の勇気が一気にコップの上の方まで溜まったのを感じました。

勇気と行動は別物ではなく、勇気と行動は密接な関係にあり、行動することで、その子の勇気は一気に高まります。勇気を持って踏み出した一歩は、その子を変える大きな一歩となっていくのです。